

ラジサポ「F」web講演会

No.20

2025年2月27日(木)19:00~20:00

座長

島根大学医学部 放射線医学講座

教授 **楫 靖** 先生

講演1

腹痛で来院した女性…見逃せないCT 所見！産婦人科疾患あれこれ

島根大学医学部 放射線医学講座

助教 **吉田 理佳** 先生

腹痛は救急外来を受診する訴えとして非常に多く、その原因は多岐にわたる。的確な診断には、患者の年齢、妊娠の有無、月経周期、性交渉の状況などを考慮し、病歴聴取、身体診察、画像検査、血液検査などを組み合わせて総合的に判断することが重要となる。本講演では、腹痛を伴う代表的な産婦人科疾患を、CT所見を中心に、若年、性成熟期、閉経後女性といった年代別に提示する。若年女性では卵巣嚢腫捻転、性成熟期女性では、子宮内膜症、子宮筋腫、卵巣チョコレート嚢胞、異所性妊娠、卵管炎、閉経後女性では卵巣癌、子宮体癌などが挙げられる。それぞれの疾患の特徴的な症状、診察所見、画像所見、鑑別疾患などを、症例を交えながら解説する。特に、緊急性の高い疾患を見逃さないためのポイントを提示し、本講演を通して、腹痛を訴える女性の日常診療、画像診断に役立つ情報を提供したい。

講演2

前立腺MRIのPitfall 10

京都第一赤十字病院 放射線診断科

副部長 **山田 香織** 先生

前立腺MRIは臨床的有意癌の発見精度を高める重要な役割を担っている。一方で、診断には画像品質や読影者の経験が大きく影響し、いくつかのpitfallも存在する。例えば中心域、前立腺周囲静脈叢といった正常の解剖学的構造や、前立腺炎、局所治療後変化といった良性の変化が癌と似た所見を示すことがある。また、磁場不均一性やモーションアーチファクト、拡散強調像における不適切なb値などの技術的な問題も、診断を妨げる要因となる。さらに粘液癌といった特殊な組織型は従来の診断基準では見逃されるリスクが高い。PI-RADSのひろがりによって診断の標準化が進んだが、PI-RADSに関連した偽陰性や偽陽性の問題は新たな課題である。本講演では、これらのpitfallを種類別に整理しつつ、診断精度を向上させるための具体的方法について解説する。

事前登録のご案内

- 1 下記URLもしくは二次元コードから **ラジサポ「F」** にログインしてください。
会員登録されていない方は **新規会員登録** より登録をお願い致します。
<https://bit.ly/3P3U33S>
- 2 **【ラジサポ「F」web講演会 No.20】** の **【参加を申込み】** をクリックしてください。
- 3 事前登録完了後、メールにて、参加用URLが配信されます。



視聴方法のご案内

Zoomアプリをお持ちでない場合

Zoomをお持ちでない場合は「**Zoomをダウンロードして実行してください**」を選択します。インストールを実行してアプリを起動してください。

既にZoomアプリをお持ちの場合

「**Zoom Meetingsを開く**」ボタンをクリックしてご参加ができます。